

令和2年度 学校自己評価表

計画段階 実施段階

福岡県立三井高等学校長 印

学校番号

62

学校運営計画		評価		
学校運営方針	○「MI for me」「チーム三井」のローガンのもと、高い連帯感と責任より力を結集させ、教育的な情熱と誠意溢れる指導で生徒を教養育み、計画的・組織的に教育活動を推進する。			
昨年度の成果と課題	本年度重点目標	具体的目標		
<p>○人権・同和教育推進委員会を定期的に開催し、特別な支援が必要な生徒に関する情報共有を図った。</p> <p>○在校生による中学校(母校)訪問を行うことができた。</p> <p>○SC、SSW、訪問相談員及び関係機関との積極的な連携による修学支援の更なる充実を図る。</p> <p>○学校ホームページ、パンフレット等の刷新を図るとともに、組織的・計画的な広報活動を展開する。</p> <p>●各部、学年等が連携を図り、全教職員の共通理解による授業改善と学力向上、キャリア教育の充実を図る。</p> <p>●「生徒指導は進路指導」の共通認識のもと、基本的生活習慣やマナーを確立させ、有為な社会人となるための準備と自覚を育てる。</p> <p>●教育活動の充実により、生徒の意欲向上や規律ある生活態度の育成につながることができなかった。(中途退学者・問題行動発生件数の増加)</p>	(1) 自ら考え判断し、自分の行動に責任を持ち、確かな学力を身に付ける生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・「三井高生 授業開始心得」を全職員で徹底し、意欲的に授業に取り組む態度を培う。 ・福岡県学校教育振興プラン「鍛えめ福岡メソッド」を踏まえ、生徒が自立的に成長するための原動力となる「自尊感情」「チャレンジ精神」等の人格的資質を育成するための指導の充実を図る。 ・基礎力診断テストの結果を検証し、教務部・進路指導部が連携して学力向上に向け、実態に応じた学習方法を工夫する。 ・習熟度による弾力的なクラス編成を行い、学力の定着・向上を図るとともに、課外授業等の充実に応じた学習方法を工夫する。 		
	(2) 友情を深め、お互いの人格を尊重する生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・「三井高生 3つの約束」を遵守させ、挨拶を励行し、人格形成を図る。 ・すべての教育活動を通して人権教育を推進し、校内外の研修や地域の学習会・行事等に積極的に参加することを通して人権尊重の精神を高め、生徒の人権意識や人権感覚を育成する。 		
	(3) 心身ともに健康で、何事においても最後までやり抜く生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事を通じて、鍛えて褒めることにより、「できる」ことを実感させ、達成感を味わわせ、自信を持たせる。 ・部活動の活動内容の充実と加入率の向上(目標75%)を目指すとともに、強化部及び活性化指定部活動の実績向上を図る。 		
	(4) 教職員の組織力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業や公開授業に取り組むとともに、校内研修の充実、校外研修への積極的参加に努め、教科、分掌や学年を超え、教職員一丸となって生徒の自己実現を図るための組織力を高める。 		
	(5) P T A, 同窓会、小・中学校、地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校パンフレットやホームページの充実、中学校訪問等を積極的に行い、生徒の学習活動、学校行事及び部活動等の様子を積極的に配信して広報活動を強化する。 ・小・中学校及び地域との連携を更に深めるため、協働した活動の取組等を積極的に進める。 		
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度の主な課題
教科指導	生徒の習熟度に応じた基礎・基本の定着と確かな学力の育成	<p>少人数授業や習熟度別授業を効果的に活用し、基本的な知識・技能を身に付けさせる。</p> <p>進路指導部と協力し、「高校生の基礎学力定着に向けた文部科学省認定ツール」を活用して個々の学力伸長を図る。</p> <p>評価の観点を明確にすることで、生徒が主体的に学習する態度を育む。</p>		
	中途退学者の防止	<p>教科担任連絡会等とおして、問題を抱える生徒一人一人に必要な支援や修学状況を全職員で共有する。</p> <p>遅刻・欠席の多い生徒について、遅刻届や欠課時数報告用紙を利用し、個別の対応を充実させる。</p>		
	新学習指導要領に則った教育課程の編成	<p>普通科一般、スポーツ健康コース、福祉教養コースの特色を生かした教育課程を編成する。</p> <p>現行の教育課程を見直し、本校の生徒の実態に即した教育課程を編成する。</p>		
生徒指導	基本的生活習慣の確立とマナー指導等の徹底	<p>「三井高生3つの約束」を自分たちが守るべき約束として捉えさせ、基本的生活習慣のさらなる確立を図る。</p> <p>登校指導、服装指導、交通安全指導等を通して、生徒の規範意識の育成を目指す。</p> <p>アンケート調査や個人面談等を丁寧に行い、いじめへの迅速な対応を行う。</p>		
	地域連携と防災・危機管理	<p>市や関係機関と連携し、生徒の安全指導の推進や甚大な災害等への対応策を検討する。</p> <p>地域のイベントや行事等に、ボランティアとして積極的に参加をする。</p>		
	生徒会活動の活性化及び部活動加入率75%の達成	<p>部活動の活性化を通して、多くの生徒に明確な目標を持たせ、社会に貢献できる人材の育成を目指す。</p> <p>生徒会活動を充実させ、生徒の自主性を育成し、多くの生徒に学校での充実感を持たせる。</p>		
進路指導	3年間を見通した系統的なキャリア教育・進路指導の充実	<p>上級学校や職種を知り、早期に自己の適正に合った進路目標を立てさせる。(第1学年)</p> <p>自己の適正に合った進路を決定させるため、希望進路に対応するための学力の定着・向上を図る。(第2学年)</p> <p>全員の希望進路を実現させるとともに、社会人としての常識やコミュニケーション能力を身に付けさせる。(第3学年)</p>		
	一人一人に応じたきめ細やかな進路指導の充実	<p>進路指導部内及び各学年・各分掌と連携し、組織的に取組を行う。</p> <p>公正な採用選考及び入試の実現に向けた取組について、関係機関・団体と連携した取組を行う。</p>		
研修・図書・情報・広報	校内・校外研修を充実し、教職員の資質能力の向上	<p>ICT機器の研修会、授業アンケートや公開授業等を推進し、教員の資質向上を図る。</p> <p>人権・同和教育研修の推進・充実を図る。</p>		
	図書教育の推進	<p>朝の活動の充実、学級文庫の設置、図書委員会の活性化を通して、生徒の読書の推進を図る。</p> <p>教科・総合的な学習の時間・総合的な探求の時間での図書館利用を推進する。</p>		
	情報機器等を有効活用した授業の展開及び業務の効率化の推進	<p>校内情報ネットワークの安全な運用を図る。</p> <p>電子版ICT機器・特別教室利用簿を作成し、iPadや電子黒板等ICT機器の計画的な利用を促進する。</p>		
	広報活動の充実・強化	<p>学校行事や公式戦等の写真記録を集約し、ホームページの定期的な更新を行い、魅力ある情報発信ができるように工夫する。</p> <p>PTA広報委員会と協力して、充実したPTA新聞が発行できるよう努める。</p>		
保健環境	心身の健康管理についての取組の充実	<p>SC、SSW、訪問相談員と教職員が十分な連携をとり、教育相談活動を充実させ、生徒が安心して学校生活を送ることができるよう支援する。</p> <p>健康調査を実施し、生徒の心身の健康状態について全職員で情報を共有し、生徒の学校生活に有効活用する。</p> <p>感染症予防や性と心の健康相談の啓発活動を行い、生徒の心身の健康に対する意識の向上を図る。</p>		
	校内外の美化活動の充実	<p>美化委員会を中心に日々の清掃活動を充実させ、ゴミの分別やトイレ掃除の徹底を目指す。</p> <p>大掃除や三井高クリーンアップ週間を充実させ、生徒の美化意識を高める。</p> <p>各学年や部活動生による地域清掃活動を充実させる。</p>		
企画庶務	P T A活動の充実	<p>P T A活動行事を精選し、活性化させる。参加者を確保し、次年度へとつないでいく。</p> <p>安全安心メール、学校HPを活用し、保護者への情報発信を充実させる。</p>		
	保護者・地域と連携した学校行事の活性化	<p>体育祭や三井高発表会など保護者や地域に開かれた学校行事の充実を図る。</p> <p>野田宇太郎生誕祭や松崎地区文化祭などと連携して行事を行い、地域への発信を図る。</p>		
	中学校訪問の充実	<p>中学校訪問を充実し、生徒募集の充実を図る。</p>		
人権・同和教育	人権・同和教育に関する知的理解と人権感覚の向上	<p>教職員の部落差別認識等を深めるための校内・校外研修へ積極的に参加する。</p> <p>各地区における連絡会や地域で開催される諸行事へ積極的に参加する。</p> <p>職員が自主的に研修するための人権・同和教育関係の図書や資料の充実とその周知を行う。</p>		
	個別的な人権課題や生徒の実態を踏まえた人権・同和教育の推進	<p>人権・同和教育推進委員会の定期的な実施と情報交換・共有、指導・支援方法等の確認を行う。</p> <p>教職員、事務職員、SC、SSW、訪問相談員との密な連携を図り、情報共有や生徒指導・支援を行う。</p> <p>生徒の実態把握に努め、各学年の課題を踏まえて、3年間を見通した人権・同和教育学習を実施する。</p>		
事務部	教育環境整備の充実	<p>教育施設の安全点検・改善について更なる徹底を図る。</p> <p>各分掌と情報の共有化を図り、予算執行の教育的効果を高める。</p>		